

文芸

投稿は投稿者の住所、電話番号を記入し、役場広報係まで。締切は毎月15日(必着)です。漢字にはふりがなを記入し、数種類に投稿する場合は別にしてください。広報投稿作品の、他への重複投稿はご遠慮ください。

短歌

末武 有二 選

解体を済みて残った老木に淡いピンクのしだれ桃咲く

古閑 井上 誠二

春昼の光あつめてさくら花 木山の川を労

宮園 金子フム子

我に散る花弁払うこともなく桜並木の下通り

安永 山下たか子

摺りガラスに朝日射しきて眼もあやに小粒の彩をしばし楽しむ

安永 守住 孝子

花愛でて心浮き立つ頃なれど一年前のあの日

広崎 松原まゆみ

一瞬にさまざまな物壊したり一年たてど地震に怯ゆる

惣領 島田 廣子

しとど降る雨は春田の一面を緑濃くして行き

安永 福田 圭子

帰省した孫にたらの芽竹の子と故郷の味夕餉

小谷 今吉マキ子

季節めぐり瓦礫の中に遅しく しゃがの花咲く白き不死鳥

安永 川野 光子

いち早く更地の庭に芽生え立つ その名は知らぬ草はたくまし

赤井 増岡 伸禧

春になり心浮き立ち思っても あの人は来ぬ

辻の城 岸良真由美

俳句

河野 全平 選

寄り添いて土筆立ちをり仮設村

木山 山口サツキ

新築の壁に輝く時計かな

古閑 井上 誠二

鮮やかに三桎の花咲誇る

赤井 鈴木 駒

菜の花の散りゆく風や俵山

小谷 今吉マキ子

花便り薄化粧して車椅子

赤井 西山恵美子

散るさくらコップに受けて幸を飲む

赤井 増岡 伸禧

大野焼黒装束の大観峰

平田 城 陶子

さくら待たず仮設に面影を残し逝く

田原 辻ヶ峰子

二句鑑賞

ゆで玉子むけばかがやく花曇り

中村 汀女

美しき緑走れり夏料理

星野 立子

狂句

田上 富岳 選

ちまき おいしゅ食べて感謝する

辻の城 岸良真由美

ちまき 今年も食べて背イ伸びた

江津 高田美佐子

ちまき 鯛と矢旗で祝います

木山 今吉美美江

ちまき 母の味にはほど遠い

赤井 鈴木 駒

ちまき 味を忘れた八十路越へ

宮園 井藤 吉郎

ちまき 清正公さんもいかんせん

古閑 井上 誠二

ちまき 迂回道も行き止まり

広崎 松原まゆみ

ちまき 谷底までも埋めつくし

馬水 西田 正巳

ちまき 家屋も夢も押しつぶし

赤井 増岡 醉粋

ちまき 埋蔵金が出やせんか

木山 今吉美美江

狂句次号の課題「まずは回復」「支払いは」

益城の文化財  
町文化財保護委員会

掘発  
益城

土 山

土山の一丁地蔵



3月19日、私は土山にある写真の「一丁地蔵」を訪ねました。周辺は、大型機械による家屋の解体作業が行われていました。

「飯田山常楽寺」のかつての参道は、木倉口と土山口でした。その土山口に、嘉永4(1851)年、土山の瓦師・中村平左衛門らによつて、「飯田山常楽寺」の石段下から花立までの36丁(約3,924坪)の一丁(109坪)ごとに13仏の石像が建立されました。

その13仏は、「大日如来」・「不動